



暮らしを支えるKOBELCO製品による 気候変動への取組みを学ぼう



『様々な製品を通じて、気候変動という社会課題に取り組んでいます』
KOBELCOは、1905年の創立以来、100年以上にわたり、社会から求められる課題の解決に挑みつづけてきました。現在は皆さんの暮らしを支える様々な分野で事業を展開しています。今、世界では「気候変動」という大きな社会課題への対応が求められています。KOBELCOのSDGsへの取組みの一例として『様々な製品を通じたCO₂削減への貢献』を中心にお伝えさせていただき、未来ある学生の皆さんに自分自身でできることを考えていただく場を提供します。

低CO₂高炉鋼材 Kobenable Steel

KOBELCOは、独自技術を活用し、自社の製鉄プロセスでのCO₂削減を実現しました。その技術を活用して、低CO₂高炉鋼材“Kobenable Steel”を国内で初めて商品化、実用化しました。



■ Kobenable Steel紹介映像
<https://www.youtube.com/watch?v=xOdIGPFycFs>

プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①KOBELCOにおけるSDGsへの取組み
- 10:30～ ②神戸線条工場見学
- 11:30～ ③ワークショップ
- 12:00 終了

実施場所： 神戸製鋼所 灘浜サイエンススクエア、神戸線条工場
 実施時間： 10:00～12:00
 所要時間： 約2時間
 実施可能人員： 40名程度
 実施費用： 1,500円/人

① KOBELCOにおけるSDGsへの取組み説明

地球規模の課題である「気候変動」。気候変動への対策としてCO₂を削減しなければなりません。鉄やアルミなどの素材や、産業機械、建設機械など、暮らしを支える様々な製品を通じたKOBELCOのCO₂削減への貢献について学習いただきます

② CO₂削減に貢献する製品を作る工場を見学

CO₂削減に貢献する製品のひとつである「線材」を製造している工場を見学いただきます。ご見学いただく神戸線条工場では、高温の細長い線材がとても速いスピードで輪になって生産される様子をご覧ください。

③ 灘浜サイエンススクエアでのワークショップ

ワークショップを通して、「気候変動」に対して、「自分たちができること」を考えていただきます。自らの考えを発信し、社員からのフィードバックを貰うことで、教室での授業とは違った学びの場を提供します。



13. 神戸製鋼所



学習のポイント

- ① 暮らしを支えるKOBELCO製品を学ぶ
- ② 製品を通じて「気候変動」への取組みについて知る
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）

